

令和7年度 学校経営方針

亀岡市立亀岡小学校

教育理念

「子どもは、子どもの中でこそ育つ」

1 【学校経営方針】

- ① 教職員の強みを生かした学級経営
- ② 教師自身の学び(研修観)の転換
- ③ 特別支援教育を中核にすえた人材育成
- ④ 人権教育を基盤にしたすべての教育活動の推進
- ⑤ 人と人との繋がりを大切にした、インクルーシブ教育の研究の推進

☆教育理念

『子どもは子どもの中でこそ育つ』を掲げ、子ども同士で自分の言葉で考えを語り合い、相手を認める文化が根付き、育っていく学校づくり「子どもをまんなか学校」を行う。これを全ての教育活動(教育課程)で具現化する。

2 【学校教育目標】

グローバル化が進む社会の中で、将来、豊かに生き、活躍できる児童の育成

3 【育てたい児童像】

- (1) 自ら考え より良い判断をし 適切に行動する子
- (2) しなやかな発想で 自分の可能性を拓げ 伸びていける子
- (3) 多様な人がいる集団の中で 自分の良さを生かし 他者を尊重し協働する子

4 【めざす学校像】

- 1 児童・教職員が育つ学校(対話・協働)
- 2 一人ひとりの子どもを見つめ、個を受容し、個を大切にする学校
- 3 全ての教育活動に創意工夫を凝らし主体的・協働的な豊かな教育を実践する学校
- 4 教師自らの資質向上を目指した意欲的な研究と着実な教育実践を進める学校
- 5 健康で安心・安全な学校
- 6 保護者や地域と学校が手を取り合える学校

5 【重点実践事項】

「子どもは、子どもの中でこそ育つ ～子どもをまんなか学校～」をめざして

① すべての教育活動に人権教育を基盤とした学校づくりの実現

- ・人権教育の柱として、インクルーシブ教育の充実をはかる。
- ・豊かな人権感覚と人権を尊重する態度や実践力を育てる。
- ・教職員の人権意識を高め、人権教育に関する指導力の向上を図る。
- ・今日的状況を踏まえて、人権学習の工夫改善をおこなう。
- ・今までの視点や新たな人権視点を学ぶ研修等の取組を進める。

② 学ぶ楽しさ、分かるうれしさが自信となる授業を実践する学校づくりの推進

- ・学ぶ楽しさ、分かるうれしさが実感できる授業づくりをおこなう。
- ・児童の学ぶ意欲を高められるよう工夫し、学力向上をめざす。
- ・授業の中でつけたい4つの力にこだわりをもつ。
 - 自分も人も大切にできる力（お互いを認め合い、納得する解に導く）
 - 自分の考えを持つ力（まずは考える 考えて、考えて、考え抜く＝深く考える）
 - 自分を表現する力（考えたことを言葉や文字、行動等で表す力）
 - チャレンジする力（とにかくやってみる うまくいなくても人のせいにはせず、うまくいくために何をすればいいか考え、何度でもチャレンジする）
- ・かめのこトークや授業の中において対話がうまれるしかけを考え思考力や表現力を向上させる。

③ 人と人との繋がりを大切にしたい、インクルーシブ教育の研究の推進

- ・一人ひとりの思いを大切に、寄り添いながら個に応じた指導・支援をおこなうことにより、児童にとっての分かりやすさ、学びやすさにつなげるようにする。
- ・学習環境を整え、学級経営の基盤をつくり、児童が安心して過ごせる居場所づくりや家庭との連携を図りながら教育活動を進める。
- ・子ども達同士の活動や学習及び、指導者や地域の方などとの人と人の繋がりを対話・共感・協働を大切にする環境づくりをおこない、学習形態にこだわった授業づくりを心がける。